

平成 29年 09月 01日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

安心長持ち徳島住宅

グループの名称

安心長持ち徳島住宅の会

直近採択グループ番号

04-0158-0646

(グループ代表者)

代表者名

青木 宏次

代表者印

代表者所属先

株式会社青木建設

代表者所在地

徳島県徳島市東吉野町3-26-1

代表者電話番号

088-625-8360

(グループ事務局)

事務局事業者名

三友物産株式会社

事務局担当者名

島 哲也

印

事務局郵便番号

770-0873

事務局所在地

徳島県徳島市東沖洲2丁目16番3

事務局電話番号

088-664-6688

事務局FAX

088-664-6698

事務局担当者E-mail

t-shima@3-u.co.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		20	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	20	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	3	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		20	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	20	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		8	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	8	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	1棟				
			300㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	まず未経験工務店の申請確定物件を最優先に配分し、続いて経験工務店の申請確定物件に配分する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	7戸	交付申請戸数	6戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 安心長持ち徳島住宅	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 安心長持ち徳島住宅の会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0158-0646	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・東海、東南海、南海連動型地震から生命を守る住宅(地震と台風に強い家)という観点から「耐震等級2」を目指す事をグループ事務局として奨励する。 ・夏涼しく、冬暖かい快適な生活ができる住宅(四季を通じて快適な家)という観点からH25年基準を標準設定とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・東海、東南海、南海連動型地震(南海トラフ地震)の発生が懸念されている地域である為、災害に備えた家づくりの一環として、太陽光や電気式給湯器、蓄電池等の採用を推進する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・高温湿潤な気候に対し、パッシブな設計を推進する。 ・夏場の気候が高温である地域については、緑化や軒や庇の採用を推進する。	◎
④①～③の背景	【徳島県の気候】 ・北部は全少雨地域、南部は日本でも有数の多雨地域である。初夏から秋にかけて梅雨、台風、秋雨等太平洋からの湿った気流の影響を受ける為、高温湿潤な気候となる。 ・最高気温と最低気温の差がかなりある。北西部の山間部に於いてはその傾向が顕著であり、冬場の寒さも厳しい。 ・東海、東南海、南海連動型地震(南海トラフ地震)の発生が懸念されている地域である。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・堅守な地盤、基礎を作るという観点から、生コン協会(徳島県生コンクリート協同組合と徳島県南部生コンクリート協同組合)からの仕入れにより、品質と価格の統一を図る。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・コンクリートについては生コン協会(徳島県生コンクリート協同組合と徳島県南部生コンクリート協同組合)からの仕入れにより、品質と価格の統一を図る。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループとして高度省エネ型住宅の標準仕様書を作成し、省エネ建材の仕様の統一を推進する。 ・その他の建材及び住設機器の仕様についても統一化を推進する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループとして高度省エネ型住宅の標準仕様書を作成し、省エネ建材の仕様の統一を推進する。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・標準仕様をグループ内の仕様として一本化することで、調達する商品に極力統一にし、資材調達の合理化を推進しコストダウンに向けた取り組みを行う。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・標準仕様をグループ内の仕様として一本化することで、調達する商品に極力統一にし、事務の合理化を推進する。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループ内に流通構成員1社を委員長とした「普及推進部会」、施工構成員1社を委員長とした「技術向上部会」、設計構成員1社を委員長とした「維持管理部会」を発足し、構成員が積極的にグループに関与し、グループ全体のレベル向上に取組む組織とする。 ①普及推進部会:高性能住宅の普及活動について検討する。 ②技術向上部会:住宅省エネルギー施工技術研修等の推進を行い、グループ全体のレベルの向上を目指す。 ③維持管理部会:お施主様に対する維持管理体制構築に向けた活動を推進する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工事業者が独自で行う場合を除き、外皮計算、一次エネルギー消費量計算等の受付窓口を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・「地域材特記仕様書」「地域材標準施工納まり図」を作成し、グループ内で発信し、お客様への提示を推進する。 ・建設業登録を持つ業者による責任施工体制とする。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地盤調査を実施し、地盤保証書をお客様に提出することで品質の均一化した住宅供給を推進する。 ・各構成員間の相互検査(インナーチェック)を行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループとして高度省エネ型住宅の仕様書に基づき、項目ごとの見積書式の作成を推進する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループの標準仕様カタログを作成し、仕様の共通化を推進する。 ・構造見学会、完成見学会を行い、グループの家づくりを訴求する。 ・外皮計算、一次エネルギー消費量計算について、グループ内で勉強会を実施することで、施工事業者のスキルアップを推進する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	該当なし	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 安心長持ち徳島住宅	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 安心長持ち徳島住宅の会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0158-0646	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループで共通の書式とした維持管理計画書作成を推進する。 ・生産者情報を10年間、所有者の住宅履歴情報を30年間保管する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・いえかるて正会員である第三者機関(プロパティオン)の活用。	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施主ごとの図面、点検結果の登録状況を事務局IDで直接確認する。	○
	② メンテナンス基準の整備		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理会社の「いえまもり」を活用して共通の維持管理計画書、維持管理点検マニュアルの作成に向けた取り組みを行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構成員による定期的な点検情報共有会議を開催し、更なる品質改善を推進する。	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・いえかるての点検結果チェックシートの登録状況を年2回確認。	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期的に構造見学会や完成見学会を行い、メンテナンス、リフォーム等の相談窓口を設け相談会を行う。	◎
	③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・メーカー主催のリフォーム相談会等にグループとして共催参加して、お施主様に対して窓口を設け相談会を行う。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工事業者概ね1社、流通事業者概ね2社で維持管理部会を構成し、維持管理や点検マニュアルの検討を行う。	○
	⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ構成員の倒産廃業時には、事務局がグループ内の施工事業者より代わりの雇工事業者の選定を行う。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・設計図書や現場施工写真等を管理し、竣工後のアフターメンテ等に対応できる体制作りを推進し、アフターメンテの事例を発表、意見交換する。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	該当なし	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・未経験工務店を中心とした施工事業者の能力向上を目的に、事務局が住宅省エネルギー施工技術講習会や高性能住宅の知識向上研修会等を企画し、推進する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・建物引渡し時に施主と完了検査を行い、契約内容との整合を確認する。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・完了立会い検査完了のサインを確認する。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ内の施工事業者の知識向上研修や各種申請、計算書作成等の事務的フローの合理化を推進する。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・2020年時点で地域性を前提とした長期優良住宅、認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅等の高性能住宅の供給戸数累計目標80棟を設定し、達成に向けた取り組みを行う。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工事業者:仕様のレベルアップや共通化に向けた商品開発などの取組。 ・流通事業者:グループの仕様レベル向上に向けた商品情報の収集および周知。 ・製材、原木事業者:規格や流通量の確保等の合理化に向けた取り組み。 ・設計事業者:適合証申請などを行い施工事業者を支援する取り組み。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が住宅省エネルギー施工技術研修の開催情報を定期的に周知しメンバーの参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・HEMS、ZEH、スマートハウス等今後の家づくりのトレンドの理解、及び導入に向けた勉強会を検討する。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	該当なし	

---

---

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)		(地域型住宅の名称) 安心長持ち徳島住宅	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県
2. グループの名称・結成年月(必須)		(グループの名称) 安心長持ち徳島住宅の会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)		04-0158-0646	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	・主要構造材のうち柱・土台・梁桁共に徳島県産材・高知県産材・愛媛県産材の桧と杉を用いる。加えて合法木材(国内・国外)も使用可能とする。 ・主要構造材の過半を徳島県産材+高知県産材+愛媛県産材+合法木材(国内・国外)とする。 ・徳島県産材は徳島県木材認証制度、高知県産材・愛媛県産材・ペイマツ(国内・国外)は合法木材証明制度を使用し、出荷証明書にて証明する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材    間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材    枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材    壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	①原木供給→製材業者→建材流通→プレカット工場→建材流通→施工業者 ②原木供給→製材業者→建材流通→施工業者 ③原木供給→製材業者→施工業者 ・原木と製材につき、一部事業者が海外に存する為、様式に記載されていない。 ・フロー図は一般的な例を示したもの。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり、原木供給業者、製材業者から在庫等の情報を収集し、流通業者、施工業者に情報提供を行う。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり、原木供給業者、製材業者から価格等の情報を収集し、流通業者、施工業者に情報提供を行う。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・事務局が中心となり、施工業者から地域型住宅の着工予定を確認し、原木供給業者、製材業者に対し情報提供を行い、地域材の供給量を把握する。	○
c	①-1 量の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・徳島県景観形成指針に沿って、緑化を推進する。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・徳島県の特産品である藍染めを使用したインテリアを積極的に提案する。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	該当なし	
カ. その他			
【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	該当なし	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	該当なし	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 安心長持ち徳島住宅	(地域型住宅供給対象地域) 徳島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 安心長持ち徳島住宅の会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0158-0646	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

地震と台風に強い家  
・基本性能＝耐震2を目指す事をグループ事務局として奨励する。

低炭素住宅の選択的項目として、①木造住宅もしくは木造建築物②節水に資する機器の設置、又は雨水・井水・雑排水の利用の措置をとる。

高度省エネ型住宅は太陽光を除くエネルギー削減率(Ro)25%以上を標準とし、全体としてのエネルギー削減率(R値)を110%とする。

性能向上計画認定住宅に関しては、高性能サッシ・高性能断熱材・高効率給湯器・高性能エアコンを採用し、躯体の高断熱化・高気密化・一次エネルギー消費量の削減を行う。

優良建築物に関しては、認定低炭素建築物の認定を取得する事とする。

高度省エネ型モデルに基づく標準仕様書に関して、高性能サッシ・高性能断熱材・高効率給湯器・高効率エアコンを採用し、躯体の高断熱化・高気密化・一次エネルギー消費量削減を行う。